

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底について

令和4年2月

上田保健福祉事務所

上田圏域では1月以降、新型コロナウイルスの新規陽性者が急増し、医療提供体制と社会機能の維持に極めて重要な局面となっています。

重症化リスクの高い、社会福祉施設やサービス事業所を利用される方に感染が拡大しないために、防止策の一層の徹底をお願いします。

今までに見られた感染事例等

○症状がある中での出勤

風邪症状や若干の体調不調を認識しながら出勤した、及び勤務時間中に体調不調が生じたが、そのまま勤務を続け、その後陽性が判明、ケアが多い利用者に感染。

○休憩室利用のリスク

感染力のある期間に出勤していた陽性者が、休憩室において、マスクを外して食事やお茶を飲みながら会話。休憩など対策が緩んだ隙に入り込んだ感染。

○同居家族からの感染、濃厚接触

同居の家族が、職場、友人との会食、学校生活等の中で感染し、家庭内で感染が拡大。同居の家族に症状がある中で出勤し、後に家族及び本人の感染が判明。

○同居以外の家族・親族等の県をまたいだ移動による発生

進学・仕事の関係で県外から帰省した家族、普段は会わない親戚等が、交流・会食し、その中に感染者がおり感染が拡大。

感染防止策

○職場における対策

- ・症状がある場合には出勤しないことの徹底。
- ・体調がすぐれない人が安心して休める体制の整備、実行できる雰囲気づくり。
- ・休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や飲食の場など、感染リスクが高まる場面での対策及び注意喚起。

○家庭内における対策

- ・家族の皆様も、職場や学校などで社会生活を送る中で、常に感染リスクがあります。家庭内にあっても互いに「感染しているかもしれない」と考え、有症状者がいる場合は全員マスクの着用、食事を別にするなど感染対策をお願いします。

○日常生活における対策

- ・普段会わない人との接触や会食では、基本的な感染防止策、マスク会食の徹底など慎重な行動を。
- ・買い物等は人混みを避け、短時間で済ませる。手指消毒にも留意。

サービス提供における留意事項

○マスク等の着用・換気の徹底

マスクの着用やこまめな換気を徹底し、人と人との適切な距離を確保してください。休憩所や送迎車内等でも会話、換気等に注意してください。

○消毒の徹底

手指消毒や石けんによる手洗いを徹底し、介助等の際は「1ケア1手洗い（1消毒）」を心がけてください。次亜塩素酸水は、ウイルス除去効果が不確実であるため推奨していません。アルコール消毒、次亜塩素酸ナトリウム溶液によるふき取りをしてください。また空間への噴霧は、吸い込む危険があるため、やめてください。

○ケア方法の見直し

感染警戒レベルが高い時は、利用者と距離をとり、できる限り対面での対応を避けるなど、ケア方法の見直しを行ってください。特にマスクの着用ができない利用者に対応する際は、細心の注意を払ってください。

○マスク等の着脱について

汚染されたマスク、手袋、ガウン等を外したら放置せず、ごみ袋に入れて密閉してください。外す際は汚染面に触れないよう注意し、前後に手指消毒をしてください。手袋、エプロン等を着用時は交換して、そのまま次の方のケアに移らないようにしてください。

○感染発生時の対応の検討

職員、利用者に感染の疑いが発生した時の初動対応や、入所施設・居住系サービスにおけるゾーニングについて、あらかじめ検討し共有を図ってください。

○行事等の延期・中止の検討

大勢の人が集まる行事や長時間近距離で対面形式となる活動、飛沫を伴うレクリエーション等は、延期・中止を検討してください。

○利用者家族への注意喚起

利用者家族に対しても、感染警戒レベルに応じた慎重な行動や、家庭内感染防止の呼びかけを行ってください。

○基本的な感染防止策の徹底

事務、調理、送迎等の職員、委託先スタッフも含めた全員が、ワクチン接種後も引き続き、基本的な感染防止策を確実に行ってください。またワクチンの追加接種もご検討ください。

◇上田保健福祉事務所ホームページに資料や厚生労働省通知リンク等を掲載しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/index.html>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/fukushi/index.html>

◇『感染リスクが高まる「5つの場面」』

https://corona.go.jp/proposal/pdf/5scenes_20201117.pdf